

## 水産物の市況について(令和6年6月及び令和6年7月)

—東京都中央卸売市場における令和6年6月(令和6年5月21日～令和6年6月20日集計)の市況と、  
令和6年7月の市況見通し(前月との比較)—

### I 令和6年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや増加で推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比でも横ばいで推移しました。

### II 令和6年7月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばいと見込まれるものの、入梅いわしの時期でもあり、末端ニーズが強くなることから、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

#### 「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はさけ・ます全般の価格が高値で推移していることから、高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さば(生鮮品)」

夏場にかけて各地のさば類の水揚げは低調に経過すると予想されるため、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

#### 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の東京への入荷量は横ばい、全国的に水揚量が少ないことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。  
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、需要期であることから卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

#### 「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

#### 「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

#### 凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

**東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)**

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
6年	28	1,421	26	1,437	30	1,403
前年	28	1,412	27	1,450	29	1,391

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

**主要品目の価格**

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	390	95	98	114
さけ類(平均)	1,246	105	118	124
(ぎんざけ塩蔵品)	1,297	109	108	126
(あきさけ塩蔵品)	923	87	81	119
(べにざけ塩蔵品)	1,494	112	96	105
(さけ類冷凍品)	1,227	104	120	125
さば(生鮮品)	451	96	99	113
するめいか(平均)	1,492	98	135	206
(生鮮品)	1,476	99	139	213
(冷凍品)	1,574	100	122	160
あじ(生鮮品)	532	96	67	85
まぐろ(冷凍品)	1,800	106	105	112
(めばち冷凍品)	1,134	99	98	101
(きはだ冷凍品)	1,156	102	122	117
(くろまぐろ冷凍品)	2,921	91	81	96
(みなみまぐろ冷凍品)	2,036	102	88	98
かつお(生鮮品)	508	78	77	98

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:6月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年~令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、持原、山崎

直通 03-3591-5613